Ⅰ　令和２年度　事業計画書

１　内外経済の現況

令和２年年頭の我が国の経済は、輸出がやや弱含む中で、製造業を中心に弱さがやや増したものの、緩やかな回復基調にあった。企業の業況判断は、製造業を中心に引き続き慎重さが増しているものの、

設備投資は緩やかな増加傾向にあった。また、個人消費も、消費税率の引き上げの影響が懸念された

ものの持ち直しつつあり、雇用情勢は改善し、売り手市場が形成されつつあった。

しかしながら、２月以降、中国湖北省武漢市を端とした新型コロナウイルス感染症は、日本を含む

世界各国に蔓延し、人・モノの動きの世界的な遮断、国内の経済活動の不活性・抑制、国際金融市場

の不安定化などによって世界経済に甚大な影響を与えている。この感染症がいつ頃終息に向かうかは

定かではなく、また第２次、第３次の蔓延が懸念されるなど、見通しがつかないことが経済活動の

回復に足止めをかけている状況にある。

このため、新型コロナウイルス感染症の蔓延は、経済活動の低下に伴う所得の低下、消費購買力の

低下に結びつく懸念が強いことから、新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響に今後と

も十分に注視する必要がある。また、米中貿易摩擦や英国のＥＵ離脱など、海外の通商問題や金融

資本市場の変動の影響にも留意して臨む必要性が高まっている。

２　真珠業界の取り組み

我が国の養殖真珠は、香港を販売拠点として、香港ジュエリーショーを中心に販売活動が行われて

いることに今も変わりはない。海外バイヤーの日本産アコヤ真珠への関心は依然として高いものが

あり、日本産アコヤ真珠の「品質の良さ」や「品質への信頼」が再認識されている。一方で、新型

コロナウイルス感染症の蔓延は中国経済のマイナス成長をもたらし、国内での宝飾品需要の低迷や、

海外旅行に対する需要減退が我が国のインバウンド需要を低迷させることが危惧される。また、欧米

諸国においても新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴う経済低迷は避けて通ることはできず、宝飾品

需要が数年にわたって低迷することも危惧される。

マーケットの動向がこのような状況にあればこそ「安心、安定、信頼」をモットーとして「品質

の向上」「イメージアップにつながるＰＲ、イメージダウンを避ける施策」を生産者、流通業者一体

となって取り組むことがますます重要になると思われ、これを将来の生産発展につなげてゆくこと

が大切であると考える。

日本真珠振興会としてはこの点を重視して、今後とも生産技術の向上のために、様々な支援を

実施するとともに、国内市場に向けては消費者に正しく真珠を理解してもらえるようにするための

努力や、世界に向けては、日本産品の積極的な広報活動をしてゆくことが必要と考えている。この

ことを目標に据えて、平成２９年度から２年間は水産庁補助事業「真珠養殖業等連携強化・成長

展開事業」によって、平成３１年度・令和元年度からは新たに水産庁補助事業「日本真珠国際競争

力強化促進事業」によって業界一体となった取り組みを推進している。この事業では、前事業で

設置した「真珠産業連携強化協議会」並びに「生産開発部会」「販売・マーケティング部会」の２部会

を継承し、真珠産業の課題と行動計画について議論している。今後とも、真珠産業に係る課題解決に

積極的に取り組み、我が国の真珠産業が高い国際競争力を獲得・維持すべく尽力する。

そして、内外経済の現況及び真珠業界の置かれた状況を踏まえて、今後の真珠業界の再生と振興の

ため、以下の事業活動を実施していくこととする。

３　重点目標

　　　上記１及び２に述べた情勢の下、我が国の真珠産業の維持・発展を目指して、本年度の重点目標を

以下のとおり定め、事業活動を実施するものとする。

　　（１）実施事業等会計

　　　　①　市場開拓及び需要拡大等支援事業

　　　　　ア　展示会等への出展による市場開拓・需要拡大事業

　　　　　　　東京、神戸で開催される国内の国際宝飾展において、パネル展示やＤＶＤの放映による

日本産アコヤ真珠のＰＲ、高品質日本産アコヤ真珠の展示及び小冊子等の配布を行う。

　　　　　　　また、香港等海外で開催される宝飾展においても真珠のすばらしさをＰＲし、中国人バイ

ヤー等外国の人々に対し、日本の真珠への理解を深める。

　　　　　　　また、ジャパンジュエリーフェア（ＪＪＦ）における日本真珠輸出加工協同組合の出展を支援する。

　　　　　イ　地域活性化事業

　　　　　　　愛媛県真珠ＰＲレディ募集事業、真珠婚おかげ参り事業、神戸パールパスポート事業、

真珠祭事業等各地区で行われる真珠に関するイベント等の協賛やＰＲ活動への支援を行う。

　　　　②　品質向上及び供給安定化等支援事業

　　　　　ア　品質向上事業

・　品評会関連

全国真珠養殖漁業協同組合連合会と共同で、全国真珠品評会、全花珠真珠品評会を

開催するとともに、愛媛県浜揚真珠品評会、三重県真珠品評会を支援する。

・　養殖技術向上関連

変動の激しい自然環境の中で生産するアコヤ真珠の品質向上を図るために、三重県

真珠養殖連絡協議会が実施する自動観測ブイ管理事業や愛媛県漁業協同組合連合会等

が実施する宇和海海水温観測システム事業を支援する。また、日本産アコヤ真珠の品質

保持を図るために全国真珠養殖漁業協同組合連合会が行う高品質珠生産活動事業を

支援する。

・　新技術・新基準関連

優良母貝生産に役立てるため愛媛県漁業協同組合連合会等が実施する２年貝による

挿核試験を支援する。

また、真珠の生産が国際的に広がる中で発生する各種の問題に対処するため委員会を

開催し、必要に応じて国際会議等に専門家を派遣する。

　（２）その他会計

　　　　①　真珠検定事業

　　　　　　従来曖昧だった真珠についての価値基準や諸説を整理し、真珠の美しさをより多くの人々に

伝えることを目的として、本年度も真珠検定事業を実施する。また、一般社団法人日本ジュ

エリー協会との連携を強化することにより活動をより活発なものとしていく。

　　　　　　単に資格取得が目的ではなく、一般消費者の方に、真珠の美しさや魅力、価値について正し

く語ることの出来る「真珠の専門家・アドバイザー」＝真珠のプロの育成に力を入れる。

本事業によって得られる資格には、ＪＡ(ジュニアアドバイザー)、ＳＡ(シニアアドバイザー)、

ＳＰ(スペシャリスト)の３種がある。　昨年度より開始したｅラーニングをより充実させ、

普及に務める。

　　　　②　普及啓発事業

　　　　　　日本の特産品である真珠の持つ多面的な価値を広く普及・啓発するために、一般消費者から

の質問、相談に積極的に対応するとともに、雑誌の有する普及啓発効果を再認識して、特別

企画の掲載や新聞等のメディアによる広報宣伝、ホームページの活用、パンフレットの作成、

マーケティング事業、入札や生産流通に関する委員会の開催等々、幅広く実施する。

　また、一般社団法人日本ジュエリー協会と連携し、市場調査、販売促進、教育・育成、消費

者対策等を進める。

　　 　③　日本真珠国際競争力強化推進事業

この事業は、真珠振興法の成立を受けて、平成２９年度に国の新規事業として予算化された

「真珠養殖業等連携強化・成長展開事業」の後継事業として平成３１年度・令和元年度から

開始されたものである。当会としては、令和２年度事業の公募に応募し、採択された。この

事業では、前事業が推進してきた真珠の生産から市場・流通・販売に至る各分野の連携強化を

継承し、また「真珠産業連携強化協議会」や「生産開発部会」「販売・マーケティング部会」の

各部会を引き続き開催し、前事業において立案した行動計画に則り、真珠産業の振興を図って

いくものとする。また、行動計画検討に必要な資料収集・分析、データベース化等を行うと

ともに、真珠養殖業等の次世代を担う人材を認定し、その活動に要する経費を助成していく

事業を引き続き実施していく。事業の実施にあたっては、国の定額予算に自己負担を加算して

我が国真珠産業の国際競争力の強化を図り、高い優先度をもって取り組む。

　　　　④　水産物輸出拡大事業

　　 我が国のバイヤーが最も集まる機会の一つであるHong Kong Jewelry & Gem Fair、及び

中国上海市において、日本の真珠及び真珠加工販売が取り扱う真珠を紹介するレクチャーを

主体に真珠輸出促進セミナーを開催し、日系業者の取り扱う真珠取引が、安全・安心・信頼に

裏打ちされたものであることをアピールし、長期的な視点での輸出販売増進・拡大を目指す。

　（３）法人会計

総会及び理事会において、振興会の活動について活発な審議・検討を行い、振興会の重要

事項の決定を行うとともに、振興会の事業と活動の全般にわたり、積極的な対応を行うため

の各種振興対策を推進するために「真珠振興議員連盟」との連携強化を図る。

会員相互の意思疎通を図り、定款の目的に沿って真珠業界全般のために振興会の運営と

事業活動の円滑な推進を図る。